

《 令和6年度 PDCA サイクル実施計画・管理表 》

令和6年4月1日 現在

部署名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	次年度の改善内容
がん相談支援センター	多様な相談ケースに対する相談技術・知識をみにつけ、相談対応能力の質の担保を図る	妊孕性の相談に必要な基本的知識・スキルを備え、自信をもって相談対応できるよう人材育成が必要である	1) AYAに関わる医療者ががん相談に期待することを確認する  2) 知識の習得、事例を用いて学習する ・基礎研修知識確認コースの妊孕性を受講し、内容を確実に理解する ・妊孕性の相談は、全相談員と共有する ・事例検討を通して「正しい情報検索、専門的知識を用いた対象理解、必要な支援とその方法」を学ぶ。相談員として自分の意見を発信する ・活用できるよう妊孕性の相談支援に関する情報源、資料をまとめファイリングする  3) AYA世代支援チームに参加し支援の実際や現状を知る	令和7年 2月					
	幅広い就労ニーズにこたえるための就労支援の充実と周知	各部署(医師、病棟看護師、外来化学療法センター、外来、書類係)としっかりつながる体制整備を完成させる必要がある	1) 療養就労両立支援指導料算定数の増加に取り組む(目標値: 初回算定10件以上) ・病棟: ①就労支援シート(yahgee)や入退院チェックシート、プロフィールの活用状況を確認し、運用上の問題を修正して定着を図る ②就労支援シートの記載内容を確認し、必要な連携がない時は外来と協働して患者介入する ③介入事例を共有してスキルアップを図る ・書類係・入退院支援センター: 広報の方法や、連携の仕組みを評価し、問題解決と定着を図る ・入院・通院ケモ: 復職まで期間が長い時は支援が途切れないよう継続看護欄で連携する  2) 両立支援コーディネーターを育成する  3) 就労支援広報を強化する ・初診面談で外来看護師が意見書のPRし易いよう工夫する ・診療科カンファレンスで両立支援を周知する ・スキルリリーの受け入れを継続実施する	令和7年 2月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C 評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。

D 実行欄には、達成度等を考慮して、○、△、× を記入する。